

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	新型コロナウイルスが2類から5類へと移行し、面会制限が緩和されたり、ご家族も参入できる情報共有ツールを活用している。毎月のお便りを評価して下さる方もいる傍ら、そうではないと感じられている方もおり、不足となっている部分をどのように解決していくかが課題として感じている。	今以上にご利用者やご家族の意見を把握でき、ケアや事業所運営に活かすことができる	電話連絡や施設来訪時等、職員側から何か思う事や意見等はないかを伺うようにする。開始は早くから行っていけるが、習慣化し漏れなく行っていけるようになるためには一定時間を要する。	～6ヶ月
2	49	少しずつ外出の機会を設けてはいるが、習慣化されなくなった期間が生じていた為にまだまだ日常的な外出には到達できていない。	買い物外出だけでなく、施設外へ出るという行為を日常の流れの中に構築し、特別でなく日常の活動支援にすることが出来る	・まずは事業所内から外に出る事から始めていく ・事業所を中心とした周辺にどのような施設があるかを把握し、外出候補先を増やしていく	～12ヶ月
3	35	災害は地域全体に影響が出るため施設内での完結では対応しきれない状況が発生する可能性があるが、地域との連携、有事の際の動きが定まっていない。	災害対策を施設と地域として分けて考えていくのではなく、地域資源の一つとして施設があるという認識のもと、協力体制を構築することができる	・避難訓練等の施設主体型の災害対策への地域の方の参画の声掛け ・地域での災害対策行事への職員の参画	～12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。